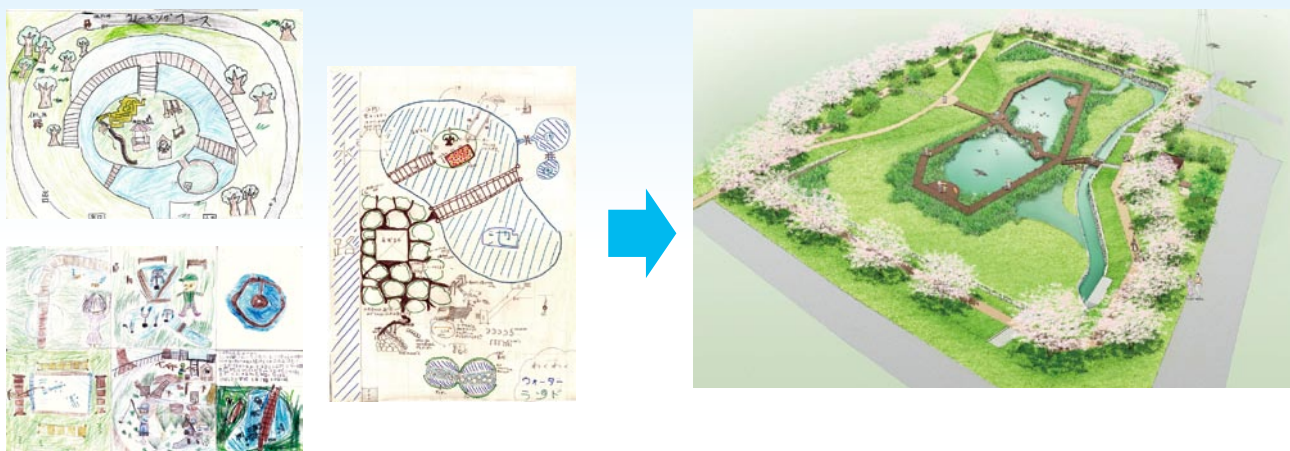


NPO 21世紀水倶楽部

本会は、水と環境に関し、
多くの方々との情報交換を通じ、
科学的知識に基づいた正しい情報を全国に発信します。



市民とともに



▲ 千葉市こてはし台調整池：小学生が描いた調整池の夢と、整備イメージ
(2008年4月24日研究集会「下水道事業と地域活動」、2009年9月3日研究集会「下水道と地域社会」講演資料より)



▲ 東京都清瀬市清瀬下宿ビオトープ公園：
小学生の素案「ブタの鼻」を元にした池の中の2つの島と、地域の児童・保護者による整備
(2008年4月24日研究集会「下水道事業と地域活動」講演資料より)

子どもたちの水辺への想いをかたちに

市民との協働による水辺作りは、地域の水環境の保全・創出を行う上で大事な取り組みです。特に、未来を担う子どもたちがそれに関わることは、地域にとってとても大きな財産と言えるのではないのでしょうか。私たち 21 世紀水倶楽部は、そのような市民や子どもたちが行政等と一体となって整備してきた水辺作りの取り組みを紹介し、地域の NPO や市民団体等の力も借りながら、市民と一緒に水環境を考えます。

NPO 21 世紀水倶楽部 会の目的と活動

【目 的】

一般市民に対して、環境保全についての知識の普及と啓発に関する事業を行い、環境保全事業の健全な発展に寄与します。

【活動の種類】

目的を達成するため、次の特定非営利活動を行います。

- | | | |
|---------------|------------------|-------------|
| (1) 環境保全を図る活動 | (2) 科学技術の振興を図る活動 | (3) 国際協力の活動 |
|---------------|------------------|-------------|

【活動の主要テーマと内容】

- | | | |
|----------------|------------------|-----------|
| (1) 基礎知識の解説・普及 | (2) 資源活用型下水道システム | (3) 水環境 |
| (4) 下水道管路システム | (5) 国際協力と海外展開 | (6) 災害と対策 |
| (7) 広報プロジェクト | | |

水環境 を考える



▲ 昭和 40 年代の多摩川と現在の多摩川
(2010 年 10 月 16 日シンポジウム「多摩川の水、これまでとこれから～水環境と下水道～」講演資料より)

川や海をきれいにする下水道の重要性を訴える

昭和 40 年代、わが国は高度経済成長期を迎え、飛躍的な発展を遂げました。しかし、その過程で私たちの生活や工場等から排出された汚れた水が川や海を汚してきました。川にはアワが立ち、ゴミが浮かび、クサイ臭いが出るようになりました。私たちはその反省に立って川や海をきれいにするさまざまな取り組みを行うようになりました。なかでも下水道の整備は重要な取り組みで、そのおかげで今ではとてもきれいな川や海を見られるようになりました。川や海の水環境はまだまだ多くの問題を抱えていますが、私たち 21 世紀水倶楽部では、地域の人たちの意見を聞きながら、下水道事業の大切さを多くの人たちに訴え、それらの問題を解決するための方法を探ります。



▲ 市民と一緒に「私たちの流した水はどこへゆくのか」を辿る視察ツアー
再生水で清流が復活した目黒川と下水処理場の見学
(2012 年 8 月 9 日、8 月 23 日出前講座・生活クラブ東京「いのちと水の連続講座」より)

私たちの流した水はどこへゆくのか

多くの人は使う水の質や量には神経質すぎるほど気を使います。安全で美味しい水を得るためにお金も使っています。そんな人たちでさえ使った後の水の行く先はほとんど意識することがありません。まちや暮らしがいかん水を用水うことて成り立っているのか、そして使われた水のほとんどが「下水」となて「下水管」に流され、集められた「下水」が「下水処理場」で微生物によてきれいにされ、川や海を守っていることを実感してもらうための、一般市民向けなどの出前講座に取り組んでいます。

問題提起 と



- ▲ 東日本大震災では下水道施設が被災し、トイレが使えなくなった
(2012年7月11日研究集会「災害時のトイレ確保と下水道の役割」講演資料より)

「下水道が使えない」が意味するもの

近年、わが国では巨大地震が頻繁に発生しています。下水道施設も多くの被害を受けましたが、下水道の機能が停止したためトイレが使えなくなり、多くの市民が大変な苦勞をしました。被害を受けた下水道施設は、いち早い復旧が必要ですが、巨大地震が起きたときにも下水道の機能が維持できるような対策が望まれています。私たち 21 世紀水倶楽部では、巨大地震が起きたときに、下水道施設の被害状況はどうだったのか、また NPO の立場から、下水道機能が失われたときにはどうすればいいのか、巨大地震に対しても強い下水道はどうあるべきかなどを情報発信します。

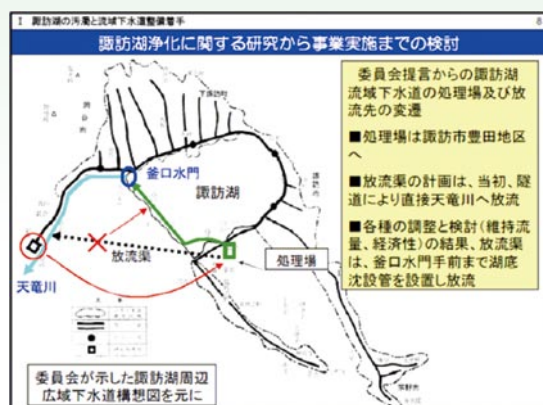


- ▲ 下水道施設が原因で起こった道路陥没と、下水道本管に突出した取付管
(2013年1月30日、3月27日連続研究集会「排水設備と取付管の今日的役割」講演資料より)

下水道施設の管理実態と課題解決の方向性を探る

わが国には 2014 年度末現在で、約 2,200 カ所の下水処理場と、約 46 万kmの下水道管が建設されています。これらの下水道施設はきちんとした維持管理を行うことで、その機能を続けることができます。しかし、とりわけ地下に埋められた下水道管は点検や調査などの管理が難しく、時に管理ができなかったために、下水道管に穴が開き、道路陥没を引き起こしたりします。そこで、そうした実態を捉え、問題の原因は何なのか、そして問題を解決するためにはどうすべきか、そのための技術開発はどうあるべきかを考えます。

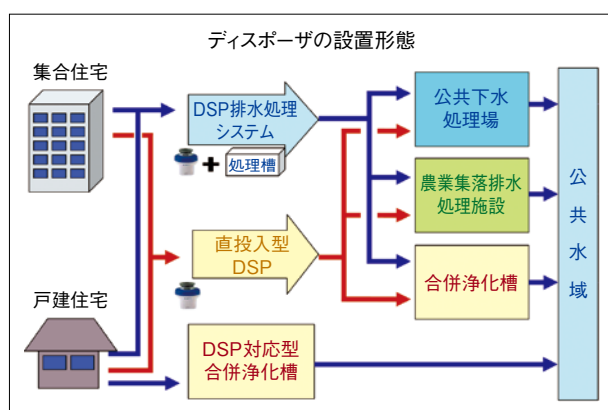
情報発信



- ▲ 諏訪湖浄化に関する検討と、諏訪湖に発生するアオコの状況
(2009年10月20日研究集会「湖沼水質の保全と下水道—諏訪湖の事例より」講演資料より)

公共用水域の水質保全はどうあるべきか

川や海、湖沼といった公共用水域の水質は、下水道整備により概ね改善が進んできましたが、地域によってはなかなか改善が進まないところもあります。水質改善進展の一方、海域では冬の栄養塩類の増加を望むような、従来とは異なる対応が必要となっている地域もあります。そこで、各方面の専門家を招き、各地の公共用水域の水質保全や水質浄化に対する考え方等を伺い、議論を通して問題を掘り下げます。



- ▲ ディスポーザの設置形態と研究集会
(2008年5月14日研究セミナー「直投式ディスポーザを考慮した下水道システム」講演資料、2011年10月11日研究集会「下水道からの資源回収とともに広がる直投型ディスポーザの普及」より)

科学的知識に基づく“直投式ディスポーザ”の普及促進

21世紀水倶楽部では、生ゴミを下水道の資源に活用する“直投式ディスポーザ”の普及に取り組んでいます。各研究機関で実施された、ディスポーザ導入による生ゴミの下水道管きょへの影響や水質への影響などの調査結果、ディスポーザ設置を認可した各市町村の経緯・苦勞された点・下水処理場でのエネルギー効果・市民の評価などの情報を発信しています。

NPO ならではの 研究 と 交流



▲ イタリア上下水道遺跡ツアー（2012年4月19～29日）



▲ 世界の列車トイレ（当会ホームページより）



▲ 活性汚泥法の偉大さ—誕生百年（当会ホームページより）



▲ 水に関わる他の NPO との交流：シンポジウム「多摩川の水、これまでとこれから」（2010年10月16日、NPO 多摩川エコミュージアムと）、研究集会「下水道と地域社会」（2009年9月3日、日本下水文化研究会関西支部、びわこ・水ネット、下水道と水環境を考える会・水澄の3NPOと）

水に関わる NPO との交流とユニークな研究活動

当会では、水に関わる他の NPO との交流を行い、地域の水環境等における課題などについて議論を深めています。また、会員同士の親睦と知見を深める目的で、国内外の水に関わる視察ツアーなども行っています。2012年4月には、イタリアの上下水道遺跡をめぐるツアーを行いました。国内においては、年1回、干潟見学会を開催し、私たちの身近にある水辺を観察しています。そのほか、当会独自の研究活動として、国内外の列車トイレの調査も進めています。また、活性汚泥法誕生百年のホームページを作成しています。

21 世紀水倶楽部主な活動実績

年 度	活 動 実 績
2003	・設立総会（5/9）、東京都からNPOとして認証（8/27） ・シンポジウム「下水道の海外技術協力ー現場から」（11/6）
2004	・シンポジウム「下水道と家庭用品を考える」（7/29） ・見学会「多摩川河口干潟の現地見学会」（8/1） ・説明会「中越下水道震災説明会」（12/10）
2005	・研究集会「都市排水と病原性微生物ー下水道システムの原点」（5/12） ・見学会「三番瀬周辺見学会」（8/21） ・研究集会「都市域における集中豪雨防災システムの新たな展開」（10/25）
2006	・見学会「盤洲干潟見学会」（8/12） ・講習会「ディスポーザ普及・促進講習会」（北海道地区）（9/13） ・研究集会「都市下水中微量物質の追跡ー調査研究の最前線ー」（10/19） ・見学会「下水道面整備に係る現場（船橋市内）見学会」（11/22）
2007	・研究集会「発展途上国の下水道整備手法はどうあるべきかー日本の経験からー」（5/25） ・研究集会「閉鎖性海域と下水高度処理ーどこまでやるのか！」（10/5） ・シンポジウム「下水管路におけるアセットマネジメント」（10/30） ・出前講座・キッチンから考える水の循環セミナー「流す水について考えよう」（11/17）
2008	・研究集会「下水道事業と地域活動」（4/24） ・研究セミナー「直投型ディスポーザを考慮した下水道システム」（5/14） ・シンポジウム「膜処理技術と水のリサイクルーどのようにリサイクルするかー」（6/16） ・見学会「多摩川河口干潟の現地見学会」（8/2） ・出前講座・伊勢崎市環境フェスティバル「ディスポーザ説明会」（10/26） ・研究集会「下水の高度処理とリン資源の回収」（12/12） ・シンポジウム「下水管路水理学を考える」（1/30） ・出前講座・三浦半島関連市下水道事業担当職員向け講習「ディスポーザの現状と課題」（1/30）
2009	・シンポジウム「排水の消毒」（6/9） ・研究集会「下水道の海外展開キーポイント」（7/7） ・見学会「盤洲干潟見学会」（7/25） ・研究集会「下水道と地域社会」（9/3） ・研究集会「湖沼水質の保全と下水道ー諏訪湖の事例より」（10/20） ・出前講座・三浦半島地域下水道連絡協議会「将来（長期）の下水道展望」（1/15） ・出前講座・荒川左岸南部実務者研修会「下水道と合併処理浄化槽」（1/21） ・シンポジウム「新下水収集システムを考える」（1/22）
2010	・研究集会「直投型ディスポーザを普及させるためには何が必要か」（5/18） ・シンポジウム「エアレーション制限下での窒素除去」（6/11） ・シンポジウム「多摩川の水、これまでとこれからー水環境と下水道ー」（10/16） ・出前講座・岩手県汚水適正処理推進会議「持続可能な下水道について」（10/27） ・研究集会「下水道と温室効果ガスコントロール」（11/30） ・研究集会「内湾の新たな水質目標を考える」（2/24）
2011	・緊急研究集会「東日本大震災をどう受け止めるか」（5/25） ・見学会「木更津干潟見学会」（8/3） ・出前講座・生活クラブ東京・いのちと水の連続講座「私たちの流した水はどこにいくのか」（7/21） ・シンポジウム「不明水問題を考える」（9/9） ・研究集会「下水道からの資源回収とともに広がる直投型ディスポーザの普及」（10/11） ・研究集会「下水道による窒素除去と地球環境保全」（11/15） ・研究集会「海外における水再生・循環利用ー最新事情ー」（2/3）
2012	・研究集会「災害時のトイレ確保と下水道の役割」（7/11） ・見学会「盤洲干潟見学会」（7/4） ・出前講座・生活クラブ東京・いのちと水の連続講座「私たちの流した水はどこへゆくのか」（8/9、8/23） ・研究集会「21 世紀の消化技術を考える」（10/12） ・連続研究集会「排水設備の今日的課題」（1/30）、「取付管の今日的課題」（3/27）
2013	・見学会「盤洲干潟見学会」（7/4） ・出前講座・生活クラブ東京・いのちと水の連続講座「私たちの流した水はどこへゆくのか」（7/6、7/26） ・研究集会「陸域における放射性物質の挙動を探る」（7/19） ・下水道展'13 東京 NPO 等シンポジウム「くらしと水の応援団ーいつ伝えるの？ 今でしょ！ー」（7/31） ・出前講座・JEMA 総括管理士・技術部会・安全衛生部会合同意見交換会「ディスポーザ（DSP）と下水道」（8/1） ・出前講座・福知山市バイオマス講演会「下水道を核とした新しい街づくりについて」ほか（11/18） ・研究集会「再生可能エネルギーの活用現場をめぐる」（11/21） ・NPO 設立 10 周年記念シンポジウム「地球環境時代の下水道を考える」（1/14） ・出前講座・宮城県下水道公社等職員研修会講演「下水道の広報を考える」（1/21）
2014	・活性汚泥法誕生百年記念研究集会「未来の下水道システムを探索する」（4/10） ・見学会「放射性物質含有下水汚泥の処理施設見学会」（5/13） ・出前講座・生活クラブ東京・いのちと水の連続講座「私たちの流した水はどこへゆくのか」（8/20） ・埼玉県下水道活性汚泥法 100 周年記念イベント（当会参加協力）（10/18） ・見学会「日本燐酸工場見学会」（10/22） ・活性汚泥法誕生百年記念研究集会「病原性微生物の今」（12/16） ・研究集会「いよいよ本格化する下水道熱利用」（2/6）
2015	・活性汚泥法誕生百年記念研究集会「活性汚泥処理法施設の設計・運転と電力消費」（5/15） ・研究集会「水系環境リスクの最前線」（7/8） ・下水道展'15 東京「水環境ひろば」（7/28～30） ・研究集会「他分野、他国から学ぶバイオガス利用」（11/20） ・研究集会「管路施設探査技術の最前線」（1/22）



入会を希望される方へ

1. インターネットによる方法

ホームページに掲載の入会送信フォームに従い
ご記入・送信ください。

<http://www.21water.jp/n-form.htm>

2. 申込書による方法

申込書は事務局までご請求ください。

☎ 03-5395-0533

※ 入会金はいただきません。

年会費

正会員 5,000 円

賛助会員 40,000 円

会費納入方法は、郵便振替または銀行振込
によります。

2009 年 7 月 25 日 盤
洲干潟見学会、ケ
フサイソガニがコア
マモの上に



2008 年 8 月 2 日 多
摩川河口干潟見
学会、ホンビノスガイ
(外来種)と子アサ
リ



ご連絡・お問い合わせは
21 世紀水倶楽部事務局へ

〒112-0002 東京都文京区小石川 5 丁目 5 番 5 号 桐山ビル 6F

E-mail info1@21water.jp

URL <http://www.21water.jp/>